



## 地域と共に生きぬく

皆様方には、平素より私ども八幡信用金庫をご利用、お引き立ていただきまして、誠に有難く厚くお礼申し上げます。当金庫をより一層ご理解いただくため平成20年度の決算内容等を取りまとめたディスクロージャー誌2009「はちしんナウ」を発刊いたしました。

### 平成20年度実績について

平成20年度は、サブプライムローン問題に端を発した米国発の金融危機が「100年に一度」と形容された世界的な経済危機へと拡大し、自動車産業等の製造業の急激な業況悪化に象徴される世界同時不況を惹き起こして、わが国経済も大きな打撃を受けました。

一方、当地域の経済は、牽引役になりつつあった製造業においては、自動車関連企業を中心にほとんどリアルタイムに世界同時不況の影響を受け、非常に厳しい環境が続きました。

このような状況下、当金庫の業績につきましては、預積金残高は940億円と前期比14億円(1.58%)の増加、貸出金残高は「全国緊急保証」等への対応により354億円と前期比6百万円(0.01%)の増加となりました。収益面におきましては、全般的な貸出需要の伸び悩みから貸出金利息が減少する一方、預金利息が増加する等厳しい局面が続きましたが、適正なりスクコントロールのもと、効率的な資金運用を図ったこと等から当期純利益は141百万円を計上することができました。これも偏にお取引先の皆様および関係各位の方々のご支援の賜と深く感謝の意を表する次第であります。

### 今後の事業展望について

当地域の今後の経済環境につきましては、公共事業の減少に伴う建設業界の低迷、少子高齢化と人口減少の進展等の構造的問題に加え、製造業における急激な業況悪化による雇用調整の拡がりもあり、先行きが見えない厳しい経済環境が続くものと予想されます。一方、昨年7月に東海北陸自動車道が全線開通したことにより当地域を訪れる観光客が増加基調にあり、特に北陸方面からの観光客の増加が著しいことから、通年による観光関連産業の拡大が期待されます。

こうした認識のもと、当金庫は平成21年度における経営計画のテーマを「地域と共に生きぬく」とし、「お取引先への取組み」「当金庫生き残りのための施策」「地域経済活性化への取組み」の3つの視点から重点方針を定め、お取引先の皆様および地域関係機関との「絆」をこれまで以上に強化していくこととしています。これからも地域の持続的発展に貢献できるよう全役職員が力を結集しその責務を果たす所存でございますので、どうか今後ともよろしくご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年7月  
理事長

野田 弘一